

令和2年度

第2回理事会（定時）

議事録

一般財団法人東京学校支援機構

## 令和2年度第2回理事会（定時）議事録

- 1 開催日時 令和2年10月19日（月曜日）14時00分から15時30分まで
- 2 場 所 一般財団法人東京学校支援機構  
東京都新宿区西新宿8-1-2 PMO 西新宿7階 会議室
- 3 開催方法 ウェブ会議システム Microsoft Teams を活用したオンライン会議
- 4 理事の現在数 9名
- 5 出席理事の数及び氏名 8名 坂東 眞理子（※）  
川名 洋次（※）  
岩野 恵子  
金澤 利明  
小林 治彦  
小林 洋子  
酒井 泰（※）  
藁田 薫
- 6 出席監事の数及び氏名 2名 大竹 栄  
小原 昌
- 7 その他の出席者の数及び氏名 1名 津村 政男（顧問弁護士）  
（※は、事務局会議室から参加）
- 8 欠席理事の数及び氏名 1名 村上 徹也
- 9 議 長 坂東 眞理子
- 10 議事録署名人 坂東 眞理子  
大竹 栄  
小原 昌
- 11 議決事項 第1号議案 第2回評議員会（臨時）の招集について

## 1 2 議事の経過及び結果

### (1) 開会

冒頭、議事に入るまでの間、総務部長が議事進行を務め、理事の出席状況及びウェブ会議を行う上で通信状況に問題ないかを確認するため、一人一人名前を読み上げ、出席者からの返答を得た。これにより、出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり、適時・的確な意見表明がお互いにできる状況・環境であることを確認した。

続いて、坂東理事長からの挨拶と、谷理恵子元理事の辞任に伴い選出され、就任した岩野 恵子理事からの挨拶があり、その後、令和2年4月1日付で新たに着任した機構管理職職員の紹介を行った。

最後に、総務部長が、理事会の定足数について、出席理事が過半数を超えており、会議が有効に成立していることを確認し、議事進行を議長である理事長に委ねた。

### (2) 議事録署名人の選出

議長より、定款第42条第2項に基づき、理事長と監事が議事録署名人を務めることを確認し、議事を開始した。

### (3) 議案の審議状況及び議決結果等

#### ア 第1号議案 第2回評議員会（臨時）の招集について

##### (ア) 議案説明

議長は、事務局に対し、第1号議案について説明を求め、総務課長が、第2回評議員会（臨時）の招集について説明を行った。

##### (イ) 質 疑

事務局による説明の終了後、議長から質疑を促したところ、特に意見はなかった。

##### (ウ) 議 決

議長が本議案について決議を求めたところ、異議はなく、第1号議案は出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

### (4) 報告事項

#### ア 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告

定款の定めに基づき、理事長及び常務理事が職務執行状況報告を行った。

#### イ 各事業における進捗状況の報告について

##### (ア) 報告事項説明

議長は、事務局に対し、各事業における事業進捗状況の説明を求め、①ティープロサポーターバンク事業、②会計年度任用職員選考支援事業、③学校法律相談デスク事業、④学校施設維持管理事業について、事務局より順次説明、質疑応答を行った。

(H) 質疑等

① ティープロサポーターバンク事業について

(質 問)

現時点のサポーター登録数とマッチング数、採用数についての評価と、目標達成に向けた優先事項をご教示いただきたい。また、活動希望分野の中で特にどの分野に強い希望があるかをご教示いただきたい。

(回 答)

登録数についてはかなり進んでいると評価できるが、登録学校数や求人数がまだ不十分。潜在的な需要の喚起に向け、もうひと工夫が必要。分野は、事務支援、特別支援教育への需要が多く、ICT支援や、部活動支援は多くない。こうした状況に対しては、マッチング等を通じ対応を講じていく。

登録数等の評価は、理事長の説明のとおり。学校の登録、求人が不十分なため、学校への働きかけが必要。登録分野は、教科指導や放課後学習指導が多く、ICT支援の登録は沢山あるが、要望は教育委員会からまとめて来る形であり、学校個別はない。時期に応じた学校のニーズがあるので、PRし、ニーズを開拓していきたい。

(意 見)

ここまでは順調と理解したが、他の学校の方からこの仕組みについて理解を得るため、インパクトのある成功事例があると良い。ICT支援についても、学校のDX(デジタルトランスフォーメーション)化等は緒につく以前の段階。知見を持つ人材もいるはずなので、学校のデジタル化戦略に資する方がいることを説明していくと良い。

(回 答)

指摘いただいた点を踏まえて十分対応するべきと考えている。

(意 見)

部活動支援員の指導可能ジャンルなどが分かる検索機能の充実や、紹介後の人材側の回答が遅くて次に進めないという実務上の課題の解決にも取り組むとよい。現場の声を踏まえ、より使い勝手の良いシステムを検討してほしい。

(回 答)

ご指摘のとおり、いくら制度が良くても使い勝手が悪いとなかなか普及しない。

また、学校の照会に対して返事がない場合はこちらから働きかけていく必要がある。

検索については、フリーワードの検索を追加構築している。直接、「サッカーの指導者」で検索できる等の改修を進めていく。

(意 見)

1回利用することで、その利点について噂が広がるのが期待できる。自分のところから広めるのも役目だと考えている。また、ICT支援は、各教育委員会の教員研修で対応を行っている。今後対応しきれなくなることが予想され、個別のニーズが高まる。消毒等も、TEPROで紹介可能とPRしてくれれば要望が出てくると考える。

(回 答)

成功事例の口コミは重要なので、そうしたご尽力は大変ありがたい。ICTの教員研修などへも支援について対応を検討したい。消毒も潜在需要が多そうなので、成功事例を作り、知っていただきたいと考えている。

消毒作業について、サポーターの方から伺った話を紹介したいと考えている。

(意 見)

学校側からの一番ニーズは事務支援とあるが、事務支援の中にオンライン化も含まれるかご教示いただきたい。また、講話だけでなく、会社の方がレポーターとして現場のレポートしてもらおうといったプログラムもあると良いと考える。

(回 答)

ICTについては、注文を待たず、こちらから働きかけていくことも検討する。

職業講話についても、ご意見を踏まえ職場紹介など工夫していきたい。

職業体験についてご提案をいただいたが、自動車工場見学の現場などを探しているところ。理事からも協力いただける現場があれば情報提供いただきたい。

#### ③会計年度任用職員選考支援事業について

質疑なし。

#### ④法律相談デスクについて

(意 見)

初期の簡単な相談を受ける趣旨だが、校長先生、機構担当職員は現場経験が長く苦労もわかっているからか深入りした相談事にも相談に応じている。訟務員会議等の東京都教育庁にある様々な相談窓口の役割分担を明確にすることが課題と考える。試行錯誤しながら制度の趣旨を踏まえて続けていければと考える。

#### ⑤学校施設維持管理事業について

(意 見)

当機構が受託することで、迅速的確に色々出来るようになったと伺っている。

工事店との契約について、工事店選定、契約の流れや実態についてご教示願いたい。

(回 答)

通常は競争入札となるが、当機構で対応している、学校で漏水やガラスが割れた等で早急に対応する必要のある、契約の暇がない場合の対応は、東京都住宅供給公社の緊急修繕のスキームを応用し、事前調査を経て工事金額を公表した上で、その金額で対応していただける業者を募集し、エリアごとに分けて発注している。

(意 見)

増改修案件であるトイレの洋式化について、現在都内ではどの程度進んでいるのか、

数値があればご教示願いたい。

(回 答)

都知事が3年前に示した実行プランにおいてトイレ洋式化は8割目標としている。その時点で、都立高校は5割、特別支援学校は8割となっている。この3年間で、小口修繕や老朽化改善を通じ、特別支援学校は9割、高校は75%となった。今年度末までに8割の達成に向け、機構として協力していくところである。

ウ 一般財団法人東京学校支援機構経営計画の策定について

(7) 報告事項説明

議長は、事務局に対し、一般財団法人東京学校支援機構経営計画の説明を求め、事務局の総務課長より説明を行い、その後質疑応答に入った。

(4) 質疑等

(意 見)

多様な広報手段によるサポーターの新規開拓促進について、バジェット（予算）の限りがあるので、SNSなど無料のツール等を効果的に活用されると良い。

また、直ぐの対応は難しいが、登録人材や募集などを簡単に見ることのできる「TEPRO アプリ」を構築するといいいのではと考える。

(回 答)

アプリ開発は自前での対応が難しいため、外注になると思われる。また、ご意見のとおり、クラシックな手段が多いので、SNSを広報手段に取り入れるよう努力する。

経営計画の中では、SNSの発信回数を一つの目標としているので、発信回数も増やしていきたい。また、アプリ化についてもご意見を参考にさせていただく。

エ その他

議長は、事務局に対し、その他の事項について説明を求め、総務課長より次回の理事会の開催時期と開催方法について説明を行った。

13 閉会

以上をもって 議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和2年度第2回理事会を終了した。

以上のとおり、理事会の決議事項等を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び監事がこれに記名押印する。

令和2年10月19日

議 長 坂東 真理子

監 事 大竹 栄

監 事 小原 昌